常盤の翠

発 行
令和3年1月27日
鹿児島市立伊敷中学校

天地は節（せつ）ありて四時（しいじ）成る

校長　河瀬 雅之

竹は成長の早い植物である。竹は固い節目で区切られており、節目節目ごとに成長していく。**竹は節があるからまっすぐに伸び、強い風にも耐えられる**のである。

四季の巡りにも、ほどよい節がある。立春、立夏、立秋、立冬、**四季も節を設けて巡り、万物は成長する。**

人の成長にも節がある。入学、卒業、進学、就職・・・人が生き続ける限りまだまだ続く。

まもなく２年生が迎える立志式も人生にとって一つの節目と捉えさせたい。昔であれば大人の仲間入りをしていたこの時期に、稚心を捨て、今の自分を見つめながら将来の姿を展望する。**「立志式」**にはそんな意味づけをしている。**後から振り返ったとき、あの日、あの時が自分の節目だったと感じられるような、そんな機会に**できればと思う。

「立志」とは生きてゆく目標を持つことであるが、一月二十一日に実施した一年生の進路学習「社会人に学ぶ」の講師としてお招きした鹿児島ユナイテッドFCの元選手で、今は同サポートリーダーを務められる**田上裕さんのお話**が、まさに**「立志」の大切さを表す言葉にあふれていた**ので一部紹介したい。

「私はJリーガーになる事が八歳からの夢でした。その夢を捨てず鹿児島ユナイテッドの一員として努力を続け、チームがJ２入りを果たした時、自分はJリーガーになることができました。その時私は三十歳、**実に二十二年越しの目標達成**でした。」

「あなたの夢はJ１選手になる事だったのではないかと、人は言うかもしれません。確かにそうです。しかし**子供の頃からJ１選手という高い目標を持ち、それを疑わなかったからこそ、今があるのだと思います。**」

「皆さんにお伝えしたいことは、『志を高く持て』ということ。そしてそれを『あきらめない』ということ。**高い志を持ち努力すれば、たとえその夢が叶わなかったとしても、**お金で買うことのできない経験や多くの出会いにつながる。そしてそれらは、**あなたの人生を必ず豊かにする。**

大切なのは毎日の積み重ね、日々チャレンジし続けることなのです。」

短い時間であったが**熱く語られる一つ一つの言葉に本物が持つ真実を感じた。**

人間はどういう志を持っているかによって決まる。**志の高低**というが、田上さんはこの言葉を地で実践されている方だと感じた。

さて、今年の暦の節目「立春」はいつもより少しばかり早い。立春は「太陽黄経が三百十五度になった瞬間が属する日」と定められているが、今年のその瞬間は二月三日二十三時五十九分。つまり、僅か一分差で二月三日となる。立春が二月四日でないのは一九八四年依頼、そのときの立春は二月五日、二月三日となるのは一八九七年以来である。

立春を境に季節は春へと緩やかに移ろってゆく。**世の中の流れも厳しい冬を乗りこえ春へと転ずることを期待してやまない。**

終わり、始まり

８日から３学期がスタートしました。３学期始業式では、３学期の抱負を、上野蒼介さん(１年生代表)、川口莉來さん(２年生代表)、中尾圭佑さん（３年生代表）の３名が力強く述べてくれました。３名全員の抱負に、「４月からの生活を意識して３学期の学校生活を過ごしていきたい」とありました。３学期は次の学年になるための準備をする０学期と言われることがあります。また、１年間を締めくくる学期にもなります。いい終わり方、いい始まりができるように充実した３学期を過ごしてください。

入学説明会

22日、４月からの伊敷中学校への入学を希望する玉江小、草牟田小をはじめとする小学６年生の児童とその保護者を対象に、入学説明会を実施しました。今回は、新型コロナウイルス感染防止のため、会場を伊敷中と草牟田小の２会場に分けたほか、入学前に伊敷中のことを知ってもらうために実施している体験入学の中止、生徒会役員による「紹介劇」を映像発表に変更するなどの対策をとりました。

６年生は約１時間、職員の説明や紹介劇を、しっかりとした姿勢で聞いていました。新入生が入学してくるのが楽しみです。

働くことの喜びに触れる

働くことの意義や喜びを，様々な職業で活躍される方々の講話に触れながら学ぶ「社会人に学ぶ」を21日，1年生で実施しました。

当日は，看護師や美容師，アナウンサー，パティシエ，警察官，消防士等１１名の講師を招き，その職業の面白さや苦労，必要な資格などについて，お話をしてもらいました。

生徒にとって今回の体験は，働くことの意義を理解しながら，自分の将来を真剣に考えるよい機会となりました。

主な行事予定

２日（火）	学年末テスト１･２年
３日（水）	学年末テスト１･２年
４日（木）	学年末テスト１･２年 ３年情報モラル講演
１２日（金）	３年保健教室
１３日（土）	立志式　立志式講演
１７日（水）	２年職場体験学習 ３年ＰＴＡ
１８日（木）	２年職場体験学習 １年読み聞かせ
１９日（金）	２年職場体験学習
２２日（月）	１年保健教室
２４日（水）	１･２年ＰＴＡ

※　新型コロナウイルス感染症対策のため，行事等を変更する可能性があります。変更があった際は，その都度連絡をします。

保護者の皆様へのお願い

新しい年を迎え，まもなくひと月になろうとしています。遅くなりましたが今年もどうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染は拡大するばかりで，保護者の方々の職場や兄弟関係の学校でも検査を受けられる場面が増えてきており，本校でもそれらの情報に合わせた迅速な対応をとっています。

学校で感染を拡大させないためには，前回も述べた「慣れても馴れるな」（新しい生活様式に慣れても，コロナウイルスに対する警戒心を無くしてはならない。）を絶えず意識した生活が欠かせません。

併せて，その時その時の状況に応じた素早い対応が不可欠です。そこで各ご家庭にお願いしたいこと，それは，ご家族の誰かが検査対象になられた際の学校への連絡です。学校では情報を受けしだい，出席停止などの措置をとることになります。秘密は固く守りますので，迅速な情報の提供をお願いします。

今後とも，子供たちの安全安心を第一に，充実した教育を提供してまいりたいと思いますので，ご協力のほどよろしくお願いいたします。

「ありがとう」の花咲く

国や県は，12月10日の人権デーを最終日とする一週間を「人権週間」として，人権意識の普及高揚を図る期間としています。

本校でも，お互いのよさに気付き，お互いの存在を大切にし，よりよい学級・学校生活を送ろうとする意欲を高めることを目標に，人権同和教育係による朝会等での講話，道徳・学活の時間の人権学習，啓発資料の読み合わせ，サンクスサンフラワーの取組などを行いました。

生徒はこれらの取組から，思いやりの心や，全ての人が安心・安全に生活する権利があることなどを学びました。

サンクスサンフラワーの取組では，友だちや先生から，してもらってありがたかった，助けられて嬉しかった，一言掛けてもらってほっとしたなどのエピソードを花びらに書き，掲示しています。

今，ここに咲いた「ありがとう」の大輪がもっともっと膨らみゆくことを期待します。